

令和5年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努める。

1. まつやま中学生海外派遣

令和6年度からの事業再開にむけ、派遣先各都市の関係者と協議を行ったほか、派遣対象となる中学1、2年生に向けたプログラムを実施した。

(1) 「中学生世界体験プロジェクト」の実施

令和6年度に再開予定の中学生海外派遣に参加を希望する生徒を対象に、外国人市民や国際交流関連団体の協力を得て、国際交流や異文化体験の機会を提供する講座を実施した。

① 日 時：2/12、3/17、3/26、3/29 いずれも 9:30～16:30

② 内 容：

- ・世界のいろいろな国について知る（JICA 愛媛デスクの協力）
- ・姉妹・友好都市について知る
- ・外国人講師による調理体験
- ・外国人市民による講話
- ・外国語 de おしゃべり など

③ 対 象：松山市内に住む中学1、2年生

④ 参加人数：2/12 63人

3/17 54人

3/26 63人

3/29 39人

合計 219人 ※参加者を2クラスに分けて実施。

(2) フライブルク市との交流推進のための現地調査

次年度からの中学生海外派遣を含む青少年交流再開に向け、フライブルク市および関係機関との協議を実施した。また、松山市 観光・国際交流課の職員と共に「プラザ・クリナリア（グルメ見本市）」に出展した。

① 出張期間：11/7～11/14

② 出張者：1人

2. 大学生海外派遣事業

姉妹・友好都市の同世代との交流を通して、それぞれの国の現状を知り、将来の友好交流の基礎となる絆を作ることを目的に、市内の大学生を友好交流都市・台湾台北市へ派遣する事業を実施し、俳句を通じて現地の大学生と交流を図った。

(1) 応募・選考

市内の大学生を対象に募集を行い、面接審査により6人を選考。

(2) 事前研修

事前研修：2回開催

(3) 派遣

期 間：3/25～3/29 5日間

訪問先：台湾・台北市

派遣団：大学生、大学院生 6人

俳句講師 1人

引率 1人

活動内容：【台北市】

- ・台湾大学、台北市立大学訪問
(台湾大学生との俳句教室、キャンパスツアー、吟行)
- ・日本台湾交流協会台北事務所訪問
- ・台湾愛媛県人会との座談会
- ・台湾大学生との台北市内ツアー
- ・総統府、中正紀念堂見学 ほか

(4) 松山市表敬訪問

日 時：4/26 16:00～16:15

会 場：市役所本館3階 第1会議室

内 容：派遣生が活動内容を報告した。

3. 姉妹友好都市からの青少年受入交流

(1) 青少年受入交流

日本文化の体験や学校訪問、ホームステイなど松山の青少年との交流を通して相互理解と友好親善を図る目的で、姉妹・友好都市からの青少年訪問団を受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。

ただし、平澤市と平澤市国際交流財団の関係者が来松した機会に、今後の交流事業についての協議を行った。

(2) 平澤市国際児童美術交流展への参加

平澤市国際交流財団が主催し、平澤市及び平澤市の姉妹・友好都市の小学生の美術作品を展示する「2024 国際児童美術交流展」へ展示する絵画を松山市と協力して募集、出品した。

① 募集期間：2/4～2/27

② テーマ：「環境問題」

③ 展示場所：韓国・平澤市 松炭国際交流センター 多目的棟

④ 出点数：10点

4. 海外からの親善訪問団等受入交流

市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めることを目的に、姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ親睦を深めた。

(1) フライブルク市民訪問団

①受入期間：10/5～10/8

②来訪者：20人

③内 容：松山城・道後温泉訪問、松山秋祭り宮出し見学、松山フライブルク会との交流など

(2) サクラメント市民訪問団受入

- ①受入期間：11/20～11/23
- ②来訪者：19人
- ③内 容：松山城・道後温泉訪問、サクラメント松山姉妹都市協会との交流など

(3) 平澤市職員

平澤市国際交流協会職員及び平澤市職員が視察・協議のため来松。松山市の観光資源である松山城やスポーツ施設（北条スポーツセンター）の視察を行ったほか、両市の交流事業についての協議を行った。

- ①期 間：9/1～9/3
- ②来訪者：平澤市国際交流協会職員3人、平澤市職員2人

(4) 愛媛マラソン平澤市訪選手団

平澤港マラソンに松山選手団が参加したことに伴う相互交流として、平澤市から選手及び市関係者が来松。視察や交流をコーディネートした。

- ①受入期間：2/9～2/13
- ②来訪者：選手13人、市関係者3人
(選手のうち9人はマラソン連合会からの自費参加)
- ③内 容：第61回愛媛マラソンへの参加
ボランティアガイドの案内による道後温泉・松山城観光 ほか

5. 地球人まつり

通算27回目となる地球人まつりを愛媛県国際交流センター（EPIC）との共催で開催した。今年度も地域で暮らす外国人住民との直接的な交流ができるよう、まつやま花園日曜市に出展した。

- ①日時：11/27 10:00～15:00
- ②内容：
 - ・ワールドバザール（世界の料理や雑貨の販売）
7か国（イギリス、ガボン、パキスタン、インドネシア、ナイジェリア、イタリア、アルゼンチン）
 - ・異国文化体験（ワークショップや世界の遊び体験）
3か国（ペルー、ナイジェリア、メキシコ）
 - ・国際交流ワークショップ（EPIC 担当）県内の国際交流団体4団体6ブース（EPIC 含む）が、気軽に楽しめるワークショップを開催した。

6. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）を活用してオーナー制度を新設し、ソラリスと姉妹都市フライブルクについて理解を深めてもらう機会を提供したほか、児童を対象にソラリス講座を実施した。

(1) ソラリスオーナー制度

人数：19人

期間：令和5年7月～令和6年3月

内容：ぶどう園見学及びソラリスについての講話、収穫体験、リキュールの飲み方講座を実施。また、オーナーには期間終了後ぶどう園に掲示したオーナープレートやソラリスで作った炭酸リキュールと飴を贈呈した。

(2) 製造品：ぶどう飴 1,200 袋 (10 個入り)、炭酸リキュール 245 本

(3) 寄贈先：福祉事業所 3 か所

(4) ソラリスの広報を兼ねた国際理解教室の実施

ソラリスについての紙芝居や、ドイツ・フライブルク市に関するクイズなどを行い、ソラリスや姉妹都市について学ぶ機会を提供した。

	実施日	施設名	人数(人)
1	7/25	味生児童クラブ	106
2	8/4	姫山児童クラブ	41
3	8/17	道後児童クラブ	86
4	8/18	放課後児童クラブひまわり	51
5	8/22	双葉児童クラブ	120
6	8/24	味生児童クラブ	78
7	8/25	たちばな第一児童クラブ	29
8	11/24	児童クラブ Jack キッズ余戸	18
合計			529

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生の推進に努める。

1. 外国語としての日本語教室

(1) 初級・基礎講座

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人住民を対象とした「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報も提供した。

講座名		曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)	
					前期	後期
平日	初級Ⅰ	火曜/木曜	13:00~14:30	30	12	16
	初級Ⅱ	木曜/火曜	13:00~14:30	30	3	9
	初級Ⅲ	木曜/火曜	14:45~16:15	30	6	5
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30~20:00	30	14	16
	初級Ⅱ	火曜	18:30~20:00	30	9	13
週末	今すぐ 日本語	土曜	13:30~15:30	20	17	19
合 計				170	61	78

○託児サポート：子育て中の外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

・利用者：前期1人（子ども1人）、後期1人（子ども1人）

○「今すぐ日本語」では、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施。

(2) 外国人小中学生向け日本語講座

日本語が母語ではない小学生を対象に、学校でよく使われる日本語を学ぶ機会を設けた。また個別指導の時間を作り、個々のニーズに対応した。

①開催日：6/3

②参加者：3人

7/1も実施を予定していたが、警報発令のため中止となった。

(3) 日本語講座サポート研修

「今すぐ日本語」での日本語学習者のサポーター向けに、サポート内容やコツを説明した。

①開催日：4/22

②参加者：5人

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対して助成を行った。

団体名	事業内容	助成金額 (総事業費)
シリキリヤ サポート クラブ	主な提供品：冷蔵庫、整理棚、布団類 主な経費：倉庫使用料、ガソリン代、リサイクル費	152,266円 (379,515円)

NPO 法人 国際交流 支援協会	主な提供品：冷蔵庫、家具、洗濯機 主な経費：倉庫使用料、リサイクル費、ガソリン代	147,734 円 (368,221 円)
------------------------	---	--------------------------

3. 外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室を会場に毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

- ① 開催日：毎月1回（原則第2水曜日）
- ② 時間：13:30～15:30 一人30分程度
- ③ 場所：コムズ4階 国際交流会議室
- ④ 相談件数：8件
- ⑤ 主な相談内容：在留資格・ビジネスに関する事など

4. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	実施日	内 容	参加者数 (人)
1	4/8	【第2回今日お茶しない？】 スリランカ出身のギートマさんをゲストに迎え、スリランカの紹介とおしゃべりを楽しんだ。	9
2	6/10	【第3回今日お茶しない？】 フィリピン出身のリカルドさんをゲストに、フィリピンやマニラを紹介してもらい、質疑応答を交えておしゃべりを楽しんだ。	10
3	7/22	【Hawaiian Culture Showcase ハワイ文化ショーケース】 ハワイからのインターン生に、ハワイの言葉、レイの歴史、州歌を紹介してもらい、リボンレイを作った。	27
4	9/30	【第4回今日お茶しない？】 インドネシア出身のダニさんをゲストに、インドネシアの衣食住を紹介してもらい、おしゃべりを楽しんだ。	8
5	12/2	【Posada Mexicana ～Let's enjoy year-end party in Mexican style!～】 メキシコ出身のイボンヌを中心に3人がメキシコ風の忘年会“Posada”を紹介。メキシコ版のくす玉“ピニャータ”を作りメキシコ文化を体感した。	36

6	2/3	【マルチキッチンラボ ～作って交流・3か国スイーツの午後～】 パキスタン出身のアジズさん、ナイジェリア出身のアントニアさん、アルメニア出身のタトゥルさんにそれぞれの国や食文化を紹介してもらい、スナック/スイーツづくりを行った。 <コムズフェスティバル参加事業>	27
合 計			117

5. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成や異文化理解を目的とした講座を開催するなど、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを紹介し交流と相互理解の促進を図った。

内 容	小 学 校	中 学 校	高等学校
職場体験／出前講座	---	1回（3人）	---
学校等への外国人紹介	1回（12人）	2回（9人）	2回（11人）

※カッコ内は紹介した外国人の数

(2) コスモリアン教室

地域で暮らす外国人等の協力を得て、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	8/8	【イラクと赤べこ?!】 中東を中心に支援活動を行っている佐藤真紀氏を講師にイラクの現状を紹介してもらった後、赤べこを作り、平和を願った。	15
合 計			15

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

今年度は全て対面で行い、工夫を凝らして実施したほか、松山市内で国際協力を実施している団体とも連携し、学習や活動をより身近なものとして感じることができるよう努めた。

	学 校	内 容	
1	姫山小学校 6年生 90人 (計3回)	「平和について考えよう」～世界の現状を知ろう～ 学校に行けない子どもたち、貧困や格差がある社会の問題に触れ、平和な社会づくりのために何ができるかを考える。 キャリア教育として モザンビークに渡航した中学生の体験談と NGO での職業体験について語り、国際協力分野の仕事の魅力や工夫していることなどについて紹介した。	
2	松山中央高校 1～3年生 1,050人 (計2回)	SDGs と人権 ～多文化共生の視点から考える～ SDGs が何故世界中で取り組まれるようになったか、背景・経緯と共に人権を守る活動につながる事例としてモザンビークの活動を紹介した。	
3	清水小学校 6年生 75人 (計3回)	国際理解教育、布・楽器の体験学習 モザンビークのカプラナ布、太鼓やマサラなどの楽器の体験とともに、自然史博物館、世界遺産などを紹介し国際理解教育を行った。 モザンビークとの交流や支援活動について 小学生が立ち上げた NGO・Bof が行ってきたモザンビークとの交流や、中学生がモザンビークに渡航して体験したことなどを含め、市民が国際交流や国際協力に関わる大切さ・意義などを紹介した。	
4	荏原小学校 6年生 93人 (計1回)	世界を知ろう！～アフリカ・モザンビークの魅力と SDGs～ モザンビークでの中高生の体験談を交え、NGO の仕事や SDGs 達成に向けてモザンビークで実践していることを紹介した。	
5	新玉小学校 1～6年生 534人 (計10回)	1年生 102人	モザンビーク衣食住の「衣」体験ワークショップ アフリカ導入として、紙芝居を行い、クイズ形式で、モザンビークについて紹介した。その後、モザンビークの伝統布・カプラナ布を実際に身に着ける体験、「部屋の四隅」のワークショップを行った。えひめグローバルネットワークによるモザンビーク支援について紹介し、武器アートにも実際に触れる機会を設けた。
		2年生 79人	モザンビーク衣食住の「食」と水運び体験 アフリカ理解につながる図書を紹介し、クイズ形式でモザンビークの食について紹介した。その後、モザンビークの子どもたちが毎日運んでいる水5リットルのペットボトルを頭に載せて運んでみる体験を行った。
		3年生 88人	モザンビーク衣食住の「住」とプラスチック問題 モザンビークの過去と現状を比較しながら紹介し、モザンビークの暮らしの中でも問題となっているプラスチックをペットボトルに詰めてエコブリックを作り、イスを作っている活用例を紹介した。
		4年生 89人	モザンビークのパラリンピック 新玉小学校が応援したモザンビークのオリンピック・パラリンピック東京大会 2020 を振り返り、特に失明の危機を回避できたパラ選手のイラーリオさんについて紹介した。
		5年生 90人	ユネスコウィーク・スペシャル・貿易ゲーム前半 くじ引きで班ごとに分かれ、貿易ゲームの進め方を説明し、班を国と見立てて、国名、国王、外務大臣、財務大臣、環境大臣、国民の役割を決め、ゲームを行った。折り紙などで製品を作り、換金するゲームの前半は、スムーズに展開できた。

			<p>ユネスコウィーク・スペシャル・貿易ゲーム後半 後半は、製品価格の暴落、ゴミの不法投棄などの問題が 起こり、役割を担った児童が話し合いを行い、解決策を 考えるなど工夫が必要だった。不公平・不平等・格差な ど、世界の縮図を短時間で感じるゲームを通じて、世界 を体感する機会とした。</p>
			<p>つながりひろがる学びの創造 ユネスコスクールで目指 す SDGs ユネスコスクールになった新玉小学校の歴史を振り返 り、モザンビークとの交流や国際協力活動を通じて、現 在、モザンビークの支援先の村がどのように生活改善し ているかを紹介した。</p>
		6年生 86人	<p>中高生のモザンビーク訪問体験談 モザンビークを訪問した中学生や高校生の渡航体験、言 葉を越えた交流などを発表してもらい、ゴミの問題や児 童労働の問題にも触れ、国際協力活動の大切さを伝え た。</p>
			<p>モザンビーク人の新聞記者との対面交流 「ノティシヤス」というモザンビーク全国紙編集長のア ナ・テネさんの来県に伴い、対面交流を行った。アナさ んに新玉小学校がユネスコスクールとしてモザンビーク との交流を 2007 年から実施・継続していることを伝 えつつ、新玉小学校卒業生が NGO・Bof を立ち上げ活動 していること、Bof からの動画メッセージなどを伝えた。</p>
6	高浜小学校 5, 6 年生 94 人 (計 2 回)	5 年生 40 人	<p>キャリア教育・世界を知る アフリカやモザンビークを知るための図書を紹介し、学 ぶことの大切さを伝えた。モザンビーク渡航体験、自然 史博物館や世界遺産などを通じて世界を知る大切さを 伝えた。</p>
		6 年生 54 人	<p>世界の暮らしと私たちの暮らし モザンビークに渡航した中高生の体験談を紹介した。世 界のさまざまな課題と現状をデータで示し、私たちの暮 らしを見つめ直す機会とした。カプラナ布や太鼓などの 民芸品も紹介した。</p>
7	味生第二 小学校 5 年生 86 人 (計 4 回)		<p>フィリピンと Community Life の活動の紹介 フィリピンの国や人々の生活について、スライドで紹介。また、 Community Life の「栄養改善プログラム」を紹介。どのような子 どもたちが来ているのかなどを話す。その後、児童間で何をすれば いいのかを考えてアイデアを出し合った。</p>
			<p>フィリピンの子どもたちとオンライン交流 画面越しにじゃんけんをしたり、質問をしあった。児童たちの英語 の質問も伝わり、喜びが繋がることを実感できていた。また、味生 第二小学校の児童がフィリピンの子どもたちのために作ったエプ ロンやおもちゃなどを紹介した。現物は 12 月下旬に現地に郵送し た。</p>
			<p>プレゼント到着の報告と写真の共有 児童たちが郵送したプレゼントが 1 月中旬に現地に届いていたこと を写真と一緒に報告した。</p>
8	たちばな小学校 5 年生 90 人 (計 4 回)	<p>総合的な学習（キャリア教育） 英語のあいさつで始まり、NGO での活動・仕事、具体的な活動とし てモザンビークでの実践を紹介した。中学生や高校生がモザンビーク に渡航したことも紹介し、一歩踏み出すこと、チャレンジするこ との大切さを伝えた。</p>	

9	北中学校 2年生 35人 (計2回)	国際協力・NGOの仕事(キャリア教育) 職業カードを事前に切り取り、組み合わせて、NGOの仕事がどのような他の職業・仕事とつながっているか、連携しているかを示しながら説明し、具体例としてモザンビークでの国際協力活動について紹介した。
---	--------------------------	---

合計

訪問校：9校

訪問回数：32回（打合せを含む）

参加延べ人数：2,760人（教員含む）

6. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、文化行事等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5/11	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を鑑賞した	11
2	5/13～5/14	【二之丸大茶会】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を体験した	28
3	10/6	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流した	4
4	10/29	【松山市総合防災訓練】 松山市防災・危機管理課主催の防災訓練に要支援者として外国人市民が避難訓練に参加した	6
5	1/13	【外国人のための日本伝統文化教室】 松山市文化・スポーツ振興財団との共催で、外国人市民がお琴と尺八の演奏体験を行ったり、講師らの演奏を聞いたりして、日本の伝統文化を楽しんだ。	10
6	3/7	【火災防ぎょ訓練】 松山東消防署主催で「ふなや」で行われた火災防ぎょ訓練に参加	7
合 計			66

※その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベント・文化祭への招待や参加呼びかけを広く外国人に周知した。

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や、団体の活動活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努める。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。

(1) 入門講座

①開催日：9/10

②受講者数：31人

③内容：「できることから始めよう！ボランティア活動」

愛媛ボランティア学習研究会事務局長の柴崎あい氏による講話。ボランティアとは何か？目的は？などボランティアを始めるにあたっての心構えについての講義。

(2) 国際交流団体による活動紹介

①開催日：9/17

②受講者数：33人

③内容：市内及び近郊で活動する国際交流13団体による活動紹介の後、個別に質問等ができる時間を設け、マッチングを図った。

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を生かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。受講後はM I Cボランティアへの登録を推奨し、今後の活動に学習の内容を生かしてもらえるよう努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光施設や行事の案内など、外国語観光ガイドに必要な実践的な語学の習得を図った。

韓国語、中国語については、愛媛マラソンに参加する平澤市、台北市からの来松者のアテンドをする内容とした。

英語については、ガイドをする際の心構えについて学習する内容とした。

学習言語	回数	受講者
韓国語	3	10
中国語	4	8
英語	7	19
合計	14	37

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドや通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：176人》

	実施日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	4/8	内子・大洲・松山城・道後温泉ガイド	ガイド	4
2	9/14	内子・大洲・松山城・道後温泉ガイド	ガイド	4
3	9/26	JICA 青年研修員 松山城ガイド	ガイド	2
4	10/6	松山城ガイド	ガイド	2
5	10/6	道後温泉ガイド	ガイド	4
6	11/7	道後温泉・石手寺ガイド	ガイド	1
7	11/22	松山城・道後温泉ガイド	ガイド	4
8	2/11	愛媛マラソンボランティアガイド・受付対応など (英語)	通訳	10
9	2/11	愛媛マラソンボランティアガイド・受付対応など (中国語)	通訳	6
10	2/11	愛媛マラソンボランティアガイド・受付対応など (韓国語)	通訳	12
11	3/4	繁多寺&石手寺ガイド	ガイド	1
12	3/17	道後地区観光ガイド	ガイド	4
合 計				52

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人とホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

(1) ホームステイ・ホームビジット

登録家庭：207世帯

	期 間	受入 家庭	受入人数 (人)	内 容
1	7/7~7/10	3	3	sacrament・ローズモント高生

(2) My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となっ

てもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安としてホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。入国制限が緩和され、新規留学生数が徐々に増加した。

- ① 交流実績：春季（6月～9月）：6か国6人の留学生が6家庭と交流
 秋季（11月～2月）：5か国19人の留学生が19家庭と交流
 ②登録家庭：269家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

また、活動に役立てることを目的に、登録者によるミーティングを定期的を開催し、情報共有を図った。

オタスケマン登録者数：医療6人/日常93人/医療及び日常96人 計195人

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	協力者数 (人)
1	5/24	内科受診同行	1
2	6/25	健康診断同行	1
3	8/2	産婦人科受診同行	1
4	8/10	産婦人科受診同行	1
5	8/16	内科受診同行	1
6	8/21	皮膚科受診同行	1
7	8/29	産婦人科受診同行	1
8	8/31	皮膚科受診同行	1
9	9/13	内科受診同行	1
10	11/2	皮膚科受診同行	1
11	11/24	皮膚科受診同行	1
12	2/19	整形外科受診同行	1
合 計			12

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	協力者数 (人)
1	4月～	素鷺小学校日本語支援員	1
2	4月～	新玉小学校日本語支援員	1
3	5/20～	「今すぐ日本語」サポート（前期・8回）	8
4	5/30	刺し子参観と体験通訳	1
5	6/5	運転免許切り替え通訳	1
6	6/26&27	松山空港における韓国便旅客アンケート通訳	3
7	7月～	ドレスリフォーム店情報及び店舗での通訳	1
8	7/3	運転免許切り替え通訳	2
9	8/8	保険の切り替え・年金加入手続き通訳	1
10	8/28	運転免許切り替え通訳	1
11	8/29	保健所での医療援助申請手続き通訳	1
12	9/5	年金の減免手続きと印鑑登録手続き通訳	1
13	9/11	運転免許切り替え通訳	1
14	9/29	運転免許切り替え通訳	10
15	10月～	湯築小学校日本語支援員	1
16	10/21	今すぐ日本語」サポート（後期・8回）今すぐ日本語」 サポート（後期・8回）	7
17	11/6	高齢者運転認知機能検査通訳	1
18	11月～	勝山中学校日本語支援員	0
19	11/26	地球人まつり 2023 in 花園日曜市ブースサポート	6
20	12/5	運転免許切り替え通訳	1
21	1/13	「外国人のための伝統文化教室」通訳	7
22	2/3	国際交流サロン「マルチキッチンラボ」講師通訳	3
23	2/8	ナイジェリア人小学生の入学説明会通訳	1

24	2/9	柔道教室の情報提供	4
25	3/9	ナイジェリア人小学生宿題通訳	6
合 計			70

(3) オタスケマンミーティング

	実施日	ミーティング内容	参加者 (人)
1	4/22	「今すぐ日本語」参加の外国人サポート研修	6
2	6/25	日本語支援員の話聞いてみよう！	17
3	7/29	国際免許切り替え手続きを知ろう！	8
4	9/2	観光におけるトラブルや事故から学ぶオタスケマンに何ができる？	12
5	10/1	活動をする上で知っておきたいポイント	12
6	11/28	医療通訳と医療ボランティア通訳	12
7	12/16	第2回やさしい日本語で交流会	33
8	2/25	外国人の医療費負担、補填制度などを知ろう	13
合 計			113

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	7/7～ 7/12	C.K. マックラチー高校との交流事業	新田青雲中等教育学校
2	10/20～ 10/23	平澤港マラソンへの参加	平澤港マラソン大会 招待選手団
3	11/19～ 11/23	サクラメント市民訪問団受け入れ交流事業	サクラメント松山姉妹 都市協会

(2) 後援・共催

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	6/25	第3回 多文化 Cooking	(特非) Community Life
2	7/26～ 8/30	夏休み、みんなで宿題！ときどき遊び！	にほんご町内会

3	7/30	第4回しこくインターナショナル Meet-up	えひめインターナショナル Meet-up
4	10/7	第40回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会	松山東雲中学・高等学校
5	10/29	第4回 多文化 Cooking	(特非) Community Life
6	1/28	第1回 ベトナム人のためのサポートデスク	(特非) Community Life
7	2/5	第5回 多文化クッキング	(特非) Community Life
8	3/9 3/27	みんなの自習室	にほんご町内会
9	3/31	第2回 ベトナム人のためのサポートデスク	(特非) Community Life

6. 情報発信事業

(1) ホームページ・メールニュース・フェイスブック・冊子等による情報提供

生活に必要な情報を外国人市民へ提供するとともに、市民にもホームページ・メール・SNS等での情報発信を行った。新型コロナウイルス感染症関連の情報については、関係機関とも連携し、最新情報の提供に努めた。

また、ボランティアグループが編集を行っている英文情報サイト「What's Going On?」(月1回更新)より、各種情報を提供した。

① メールニュース

○OMICメールニュース 登録者数：1,850件

当協会が行う事業や、松山市及び近郊の国際交流に関する情報を週1回日本語で配信。

○コスモリアンメール 登録者数：770件

外国人市民に有用な情報を、やさしい日本語及び英語で併記して随時配信。

市民・外国人市民 770件

② Welcome Sheet

外国人と日本人市民によるグループ「ゆい・結・Yui」と連携し昨年度作成した「Welcome Sheet」の内容を更新し、増刷した。

(2) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書等を収集し市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：54冊

(3) ラジオによる広報

松山市のラジオ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月日	内 容	番 組 名
1	8/26	国際交流市民ボランティア入門講座の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
2	1/6	コムズフェスティバル	ラジオ広報番組 「みんなの松山」

IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努める。

1. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ①設置台数 6台
- ②料 金 無料
- ③貸出件数 79件

V. 評議員会・理事会の実績等

令和5年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開 催 日：令和5年6月7日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 国際交流会議室

決議事項：令和4年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

出席者：評議員4人、理事2人、監事2人

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開 催 日：令和5年5月17日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）5階 会議室5

決議事項：令和4年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

令和5年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事8人（欠席1人）、監事2人

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会代表理事及び業務執行理事の選定

出席等：決議事項について、理事8人全員の書面による同意の意思表示及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和5年6月7日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

出席等：決議事項について、理事8人全員の書面による同意の意思表示及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和5年12月19日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第4回理事会

開催日：令和6年3月27日（水）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）4階 国際交流会議室

決議事項：令和6年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算の承認

報告事項：事業の執行状況について

出席者：理事6人（欠席2人）、監事1人（欠席1人）